

明_下如来常依_二諦_一説法。一者世諦、二者第一義諦。故二諦唯是教門、不_レ關_二境理_一。〔大乘玄〕

六

これを要するに、僧肇は能うかぎり外典を引用して仏理を説いたが、その態度は、極めて自主的であったこと、然し、外典を引用したことに於いてやはり格義の一種と言わねばならぬこと、但し、魏晉の格義とは趣を異にするものであること、而して外典を引用したことそれ自体、彼自身正しい仏教の理解に立ちながら仏教を中國化する契機を含むものであったこと、即ち、万法が主觀的であるよりは客觀的實在であるかの如く考えられ、真諦が次元の相違として、その關係が追及されるよりは、即の字を以て割り切られたため、仏教は、その原有する唯心的形而上的性格を著しく稀薄にする傾向を持つに至ったこと、以上が、この小論の結論である。

而して、僧肇のかかる仏教受容のしかたは、彼が中國に於ける仏教發展の本流の源に棹さず第一人者であったがゆえに、恐らくは以後の中國仏教の性格を規定するところがあるものと考えてよいであろう。その具体的な検討は後考に俟たねばならない。(昭和三十年三月)

次号原稿募集

- 一、期限 昭和三十年十二月末日、
- 一、字数 二百字詰原稿紙四十四枚以内、
- 一、送先 東京教育大学漢文学会 編輯部 今井宇三郎宛

注 登載は委員会に御一任さす。

学会彙報

○昭和二十九年漢文学会総会次第

日時 六月廿七日 午前九時開会
場所 東京教育大学E四〇三教室

△研究発表之部▽

- 一、王充の賢者論 研究 生 木村郁二郎氏
- 一、旧鈔古文孝経を通して隸古定の再考察に及ぶ 小山台高 青木木菟哉氏
- 一、龍谷大学本「史記抄出」について 大倉山研究所 水沢 利忠氏
- 一、喪服に現われた数秩序について 香川 大学 藤川 正数氏
- 一、日本文学に影響した老子 東京学芸大学 新美 保秀氏
- 一、不真空論の本無について 教育大学 今井宇三郎氏
- 一、章孝標の詩と日本文学 学習院大学 金子彦二郎氏

△總會之部▽

- 一、議事 今井委員
- 庶務報告 緒形委員
- 編輯報告 鎌田委員
- 會計報告 員

昭和廿八年度学会會計報告

〔収入〕

前年度よりの繰越金		九六、〇〇
会費 一般會員28年度分	56名(百円未納24名)	三〇、〇〇〇
〃 〃 29年度分		一、四〇〇
〃 〃 27年度迄の遅納		五、四五〇
学生	28年度分	七、四〇〇
		〇〇

27年度分

26年度雑誌代

寄附

会報発却代

28年度利子

計

《支出》

通信費(總會通知、会報發送、受領通知、原稿依頼)

会報代

會員名簿

慶弔費(内野台嶺先生)

事務用品(封筒、紙等)

總會経費

計

差引不足(廿九年度会計繰込)

○委員改選(四名)

内野熊一郎氏・小林信明氏・鎌田 正氏・坂井健一氏当選

二、懇親会

○学会例会(第三土曜)

○一月例会(一月廿九日)

一、雑誌会

李玄伯「中国古代社会新研」

松本雅明「國風に於ける年代推定の試論(古代研究第四号)」

同 「日本上代文化に影響した中国六朝文化」(同右)

佐藤一郎「隱遁思想の起原」(北海道大学文学部紀要)

白川 静「甲骨学商史論叢に就て」(立命館文学一〇一、一〇三)

一、研究発表

甲骨断代研究の考察

青木木菟哉氏

○二月例会(二月十九日)

一、雑誌会

錢 穆「道家の政治思想」

狩野直喜「中国哲学史」(単行)

宇都木章「戦国策の縦横家評」(中国古史の諸問題)

一、研究発表

日本漢文学史上における良寛の業績

○三月例会(三月二十六日)

一、雑誌会

余冠英「漢魏六朝詩論叢」(中国古典文学研究叢刊)

林 庚「詩人李白」(同右)

王拾遺「白居易研究」(同右)

馮 至「杜甫伝」(単行)

一、研究発表

中国における哲学と神学の問題

○四月例会(四月十六日)

一、雑誌会

袁 珂「中国古代神話」(単行)

程毅中「從神話伝説、談到白蛇伝」(単行)

一、研究発表

心無義について

○五月例会(五月二十一日)

一、雑誌会

湯用彤・任繼愈「魏普文学中的社会政治思想和它的政治背景」(歴史研究)

王 瑤「玄学和清談」(中国古典文学研究叢刊、中古文学思想)

金谷治「莊子内篇について」(日本中国学会報第五)

一、研究発表

青木木菟哉氏

黎錦熙「新著國語文法」についで

牛島 徳次氏

○研究室關係 卒業論文発表会 (二月十一日)

- 一、詩經國風篇に現れた庶民生活に關する一考察
- 一、左伝文体の一考察
- 一、白居易の積極面と消極面
- 一、董仲舒の思想構造
- 一、中国上代に於ける禳祭
- 一、凌雲集考―配列意識分類意識の問題
- 一、集韻々類考
- 一、中国古典文語に於ける四声による意味區別
- 一、荀子に於ける思想形成の考察

山崎隆平君
 国金海二君
 河地隆夫君
 上田 武君
 酒井健一君
 菅野礼行君
 竹市恵一君
 望月真澄君
 竹中敏夫君

○昭和三十年度 漢文学關係講義

(一) 一般教養科目

- 小林教授 漢文学講義 (思想)
- 中西教授 漢文学講義 (唐詩選)

(二) 一般語学

- 牛島助教授 中国語一、二、
- 北浦講師 中国語一、二、
- 陳 講師 中国語一、二、

(三) 専門科目

- 小林教授 中国思想史 (上代)
- 〃 中国哲学演習 (左伝)
- 〃 中国哲学概論並特講
- 〃 中国哲学演習 (礼記注疏)
- 〃 漢文学講義 (文字学)
- 〃 漢文学講義 (朝鮮字音史)
- 〃 言語学特講 (朝鮮字音史)
- 〃 中国言語学演習 (Karlgren: Word Families)
- 〃 中国文学史
- 〃 中国文学演習 (許傑 魯迅小説講話)
- 〃 中国文学講義 (杜詩)

前野助教授

中国文学史
 中国文学演習 (許傑 魯迅小説講話)
 中国文学講義 (杜詩)

中西教授 漢文学演習 (文選)

〃 漢文学講義 (古文真宝)

鎌田助教授 中国哲学演習 (論語集注)

〃 漢文学講義 (老子、莊子)

牛島助教授 中国言語学講義 (現代語法)

水沢講師 漢文学特講 (史記の文献学的研究)

四 大学院科目

内野教授 經史資料学 (漱溟本尚書經典釈文講義)

〃 積微居金文説演習)

小林教授 中国思想史 (尚書学講義)

〃 (莊子郭注演習)

鎌田助教授 〃 (春秋学講義)

河野助教授 中国音韻学 (唐代音韻研究)

小野講師 中国文学 (中国上代文学論)

〃 (中国文学演習)

中西教授 日本漢文学 (六国史の研究)

漢文学会々報 第十六号

昭和三十年六月十五日 印刷
昭和三十年六月十九日 発行

(非売品)

編輯者

東京教育大学 今井 宇三郎
漢文学会 坂井 健一

印刷所

東京都文京区八千代町二十五
杜陵印刷株式会社

発行所

東京都文京区大塚窪町二四
東京教育大学漢文学会

振替東京四七六〇〇番

振替東京四七六〇〇番

東京文理科大学
名譽教授 文学博士 諸橋轍次著

大漢和辞典 全十三卷

総計一萬五千頁 (内索引一卷)

三十年間の血闘的著作と

時価六億の巨費とによる

世紀の大出版遂に成る!!

文字数5万、語彙数52万

空前の漢語漢字典!!

本辞典は、漢字典の權威とされてきた康熙字典を、その字数において凌ぐこと二千、佩文韻府を、その語彙数において抜くこと十萬、新ウエヴスター・オックスフォード兩辞典をも、その総量においてはるかに凌駕するという、まさに古今東西を通じ、漢和辞典としては世界に誇るに足る空前絶後の大著である。本辞典の刊行は、悠久五千年に亘って織りなしている東洋文化無尽蔵の宝庫を開くもので、子々孫々に至るまで永く不磨の金字塔たるべきことを確信する。
(予約申込書及び申込規定は全国小売書店にあります)

予約限定出版 至急御申込み下さい

(詳細内容見本御申越次第進呈)

発行所 株式会社 大修館書店
東京千代田区千代田3の24 電話東京29局 6507-9 番 振替貯金口座東京 40504 番

教育図書の国語

高等学校用

新版 標準漢文 全三卷

編者 内野台嶺 安井香山
内野熊一郎 坂本暢
小島政雄 緒形夫
小沢文四郎 井健一
今井宇三郎 坂井夫

新刊 国語 全三卷(総合)

編者 守隨憲治 長谷川泉
阿部吉雄 倉林千代松
阿部秋生 河合秀夫

中学校用

改訂版 中学標準国語 全六卷(総合)

編者 今泉忠義 宇野義方
飛田隆 実方亀寿
飛田多喜雄 和田利政
齋藤喜門 林慶子

6
教 図

東京都新宿区市谷砂土原町

教育図書株式会社